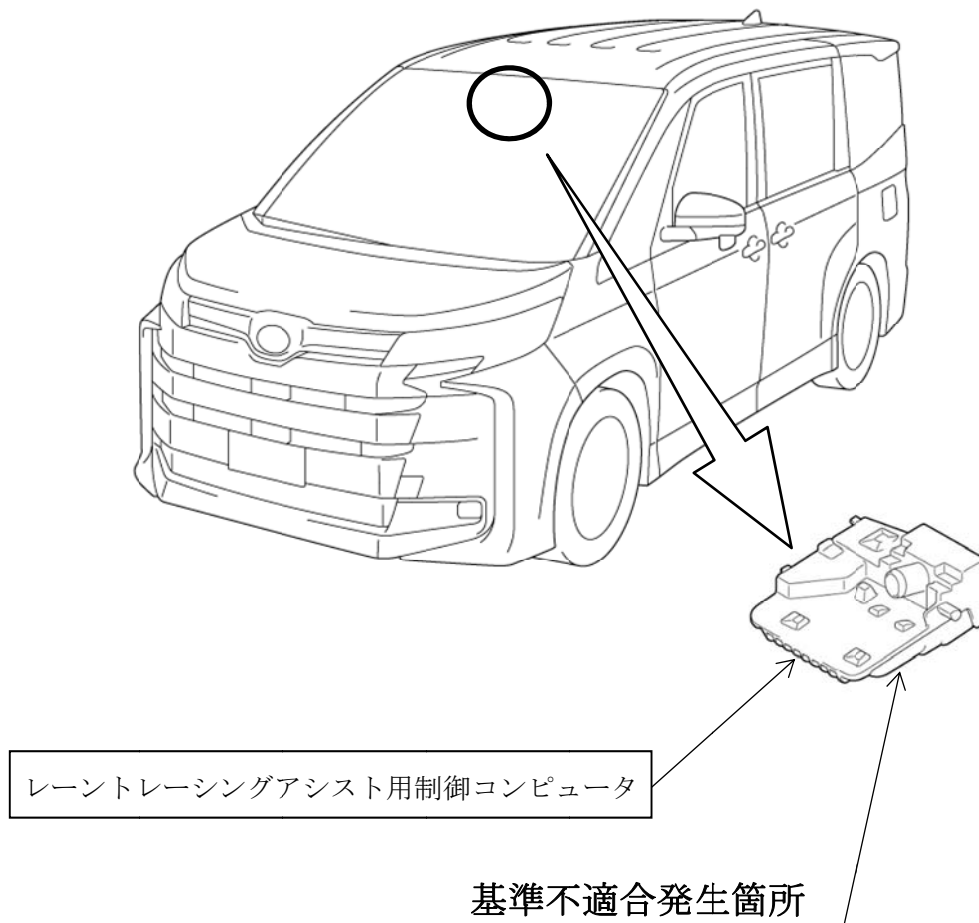


改善箇所説明図①



注：□ は修正部品を示す。

運転支援装置のLTA※において、制御プログラムが不適切なため、ハンドル舵角の中立位置のずれにより、LTAでのハンドル操舵の補正が不足するものがある。そのため、カーブと車両速度の状況によっては、早期に警報が作動して、運転者による操舵が必要となり、保安基準第11条（かじ取り装置）に適合しないおそれがある。

※レーントレーシングアシスト：レーダークルーズコントロールの作動中
車線維持に必要なハンドル操作を支援するシステム

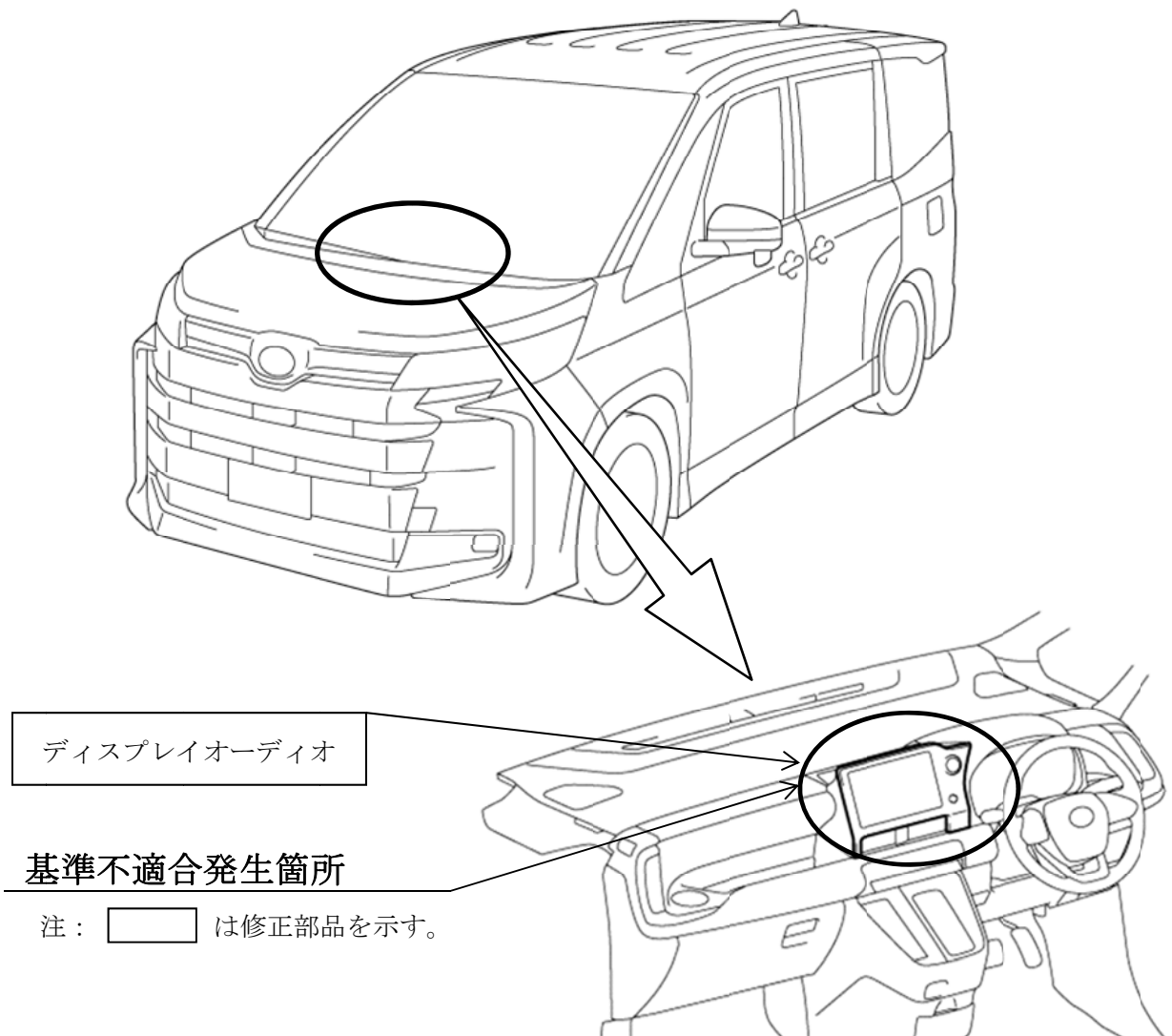
改善の内容

全車両、レーントレーシングアシスト用制御コンピュータのプログラムを対策仕様に修正する。

識別：改善済車両には車台番号打刻位置のハイフン位置上部に黄色ペイントを塗布する。

なお、塗布される前までは、ディスプレイオーディオに表示されるバージョンが「01.02」以上を確認、もしくは各社ホームページでのリコール検索で代用する。

改善箇所説明図②



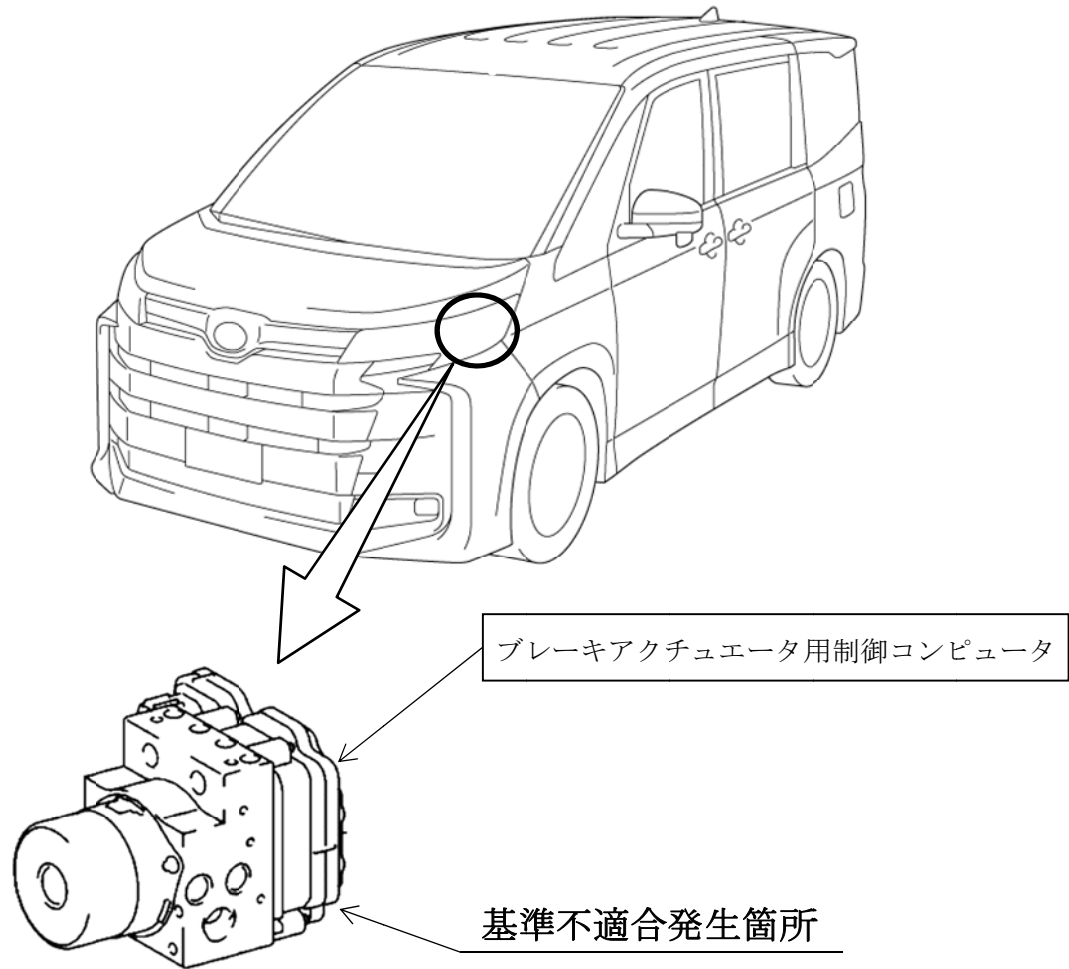
ディスプレイオーディオにおいて、制御プログラムが不適切なため、ナビのルート案内中に車両を再始動し、直後にパノラミックビューモニターの映像を表示した場合、ナビ案内図を車両左側の映像に重ねて表示する場合がある。そのため、車両左側の映像が確認できず、保安基準第44条（後写鏡等の基準）に適合しないおそれがある。

改善の内容

全車両、ディスプレイオーディオ用制御プログラムを対策仕様に修正する。

識別：改善済車両は、ディスプレイオーディオの設定画面に表示されるプログラムのバージョンが「1296」以上であることにより識別する。

改善箇所説明図③



注：□ は修正部品を示す。

電動パーキングブレーキにおいて、制御コンピュータ電源回路の異常検出プログラムが不適切なため、回路内で発生する一時的な応答遅れを異常と誤判定することがある。そのため、警告灯が点灯して、電動パーキングブレーキが作動しないおそれがある。

改善の内容

全車両、ブレーキアクチュエータ用制御コンピュータのプログラムを対策仕様に修正する。

識別：改善済車両には車台番号打刻のハイフン位置上部に黄色ペイントを塗布する。